

事業所名

児童通所支援ぽっとまむ（児童通所支援）

支援プログラム

作成日

2024 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念	「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」の4つの権利を守り、自己表現のできる、個性豊かな人に成長していくことを願っています。		
支援方針	母子分離でお子様の様子や発達段階を考慮して曜日分けを行い、平日の午前中に1回2.5時間の小集団療育を行っています。 室内・公園での運動遊びや、音楽遊び、感触遊び、制作活動を行い、心身の発達に繋がるよう、遊びを通して様々な経験を積み重ね、自己肯定感を育む支援を行っています。 家族支援に加え、幼稚園や保育園等と連携を図り、関係機関とも情報共有し、地域での子育てを大切にしています。		
営業時間（支援時間）	9時00分～18時00分	(9時30分～12時00分)	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	公園に行く活動や遊具で身体を使う活動を行い、体力をつけます。また、戸外でのルールを学び、理解と定着につなげます。 クッキングやおやつ時間を設けることで、様々な形状や味の食べ物を食べる経験を積み、食事の楽しさや摂食嚥下、食具の使い方を楽しく学びます。 おやつのお皿の片付けや、自分のタオルをたんでカバンにいれるなど、日常生活での自立に向けての取り組みを通し、自分でできることを増やしていき、達成感を得る機会を設けます。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
	運動・感覚	室内でのサーキット遊びなどの運動活動でバランス感覚を養い、身体機能向上につなげます。 粘土遊びなどで手先・指先の巧緻性を高め、自分のイメージを表現できるように促します。 泡遊びやスライム作りなどで、普段感じることの少ない感覚刺激を与え、感覚の成長を促します。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
	認知・行動	ドミノ倒しなどの設定活動により、友達と協力してドミノを並べ、倒すことで達成感を得ます。 季節の制作を通し、季節感を感じてもらいながら、季節の概念の理解につなげます。 トイレトレーニングをご家庭と並行して行うことで、排尿のタイミングを感じ、成功体験を積みみます。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
	言語 コミュニケーション	しりとりなど言葉を使った遊びに参加してもらったり、当番制を導入し友達とやりとりする機会を作ったりして、言葉の理解や語彙の獲得につなげます。 他者からの声に耳を傾け、他者の存在を知る機会を設けます。 自己表現したり思いを伝える方法を学んだりして、意思疎通ができることを体験してもらい、他者に伝わる喜びを感じてもらいます。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
	人間関係 社会性	事業所職員と継続的に関わることにより、信頼関係を構築し安心感を得られるようにします。 他の利用者さんとかかわりを通し、他者の存在を知る機会を得ます。 ハロウィン散歩などで、地域との交流を図ります。 集団で制作活動をする事により、他者と協力して一つの事を成し遂げる喜びや達成感を得る体験をします。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
家族支援	日常生活において、社会資源が足りているかを確認し、必要に応じてアドバイスやサポートを行います。 困りごとなどが発生した際は、随時電話での相談または面談の機会を設けます。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流と情報交換を行います。
地域支援・地域連携	他の通所支援事業所との交流と情報交換を行います。 地域連携会議への参加をします。 幼稚園や保育園と双方向での訪問・情報交換を行い、連携を図ります。	職員の質の向上	毎朝ミーティングを行い、情報共有をします。また、外部研修の受講・事業所内研修の実施などがあります。
主な行事等	夏まつり・ハロウィン・クリスマスパーティーなどを行います。 近隣施設や、公園へのお出かけをします。 年2回の親子行事や、地域のイベントにも積極的に参加しています。		